

科目名		測量学演習 II			
担当教員		稲田 巧		実務授業の有無	
対象学科		環境測量科	対象学年		1
必修・選択		必修	単位数		
			開講時期		後期
			時間数		48
授業概要、目的、授業の進め方		次年度5月の測量士補の国家試験合格を目指し学習する。また、8分野について65%の合格ラインに到達するための学習をする。			
学習目標 (到達目標)		次年度5月の測量士補の国家試験合格。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		プリント、資料を配布する。			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	測量士補試験対策 測量法規		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を65%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
2	測量士補試験対策 GNSS測量		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を66%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
3	測量士補試験対策 基準点測量（多角測量）		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を67%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
4	測量士補試験対策 基準点測量（水準測量）		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を68%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
5	測量士補試験対策 写真測量		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を69%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
6	測量士補試験対策 地図編集		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を70%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
7	測量士補試験対策 地形測量		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を71%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
8	測量士補試験対策 応用測量		過去問題を10年年間分を解答し、分野での正解率を72%を目指す。最後の時間に確認テストを行う。		
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点 10%	確認テスト 90%	各分野の確認テストの平均点数で評価する。	まだ履修していない分野についても学習するので、疑問点、わかりづらい点があれば授業中でも構わないので質問してほしい。国家試験の合格を目指してがんばろう。		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		測量会社にて測量業務24年			